

たんぽぽ通信

Dandelions

2025. 6

始良市立加治木幼稚園便り

PHONE 62-2502

FAX 62-2524



幼稚園の「にじいろ農園」で育てた野菜でカレーを作りました。玉ねぎの皮むき、ジャガイモ、人参洗いは年中さん担当。年長さんは、野菜を切って、ルーを入れて、みんなで食べるカレーを調理しました。猫の手、上手ですね。

田植え準備で泥んこ遊び

ここ数年、年中さんが、米作りの体験をしています。粃まき、田植え、稲刈り、脱穀、おにぎり試食と約半年かけての体験活動です。

これまで、バケツやケースで米を育てていましたが、今年は、裏の畑の一部にミニ田んぼを作ることになりました。

そこで、年中さんは、田植えの前に代掻きを兼ねて泥んこ遊びをすることになりました。

前日、先生の「楽しみな人、手を上げて！」の声かけに対し、子供たちは「・・・。」どうなることやらと心配しつつ始まった泥んこ遊びでしたが、そんな心配など何のその、みんな、それはそれは楽しそうに遊びに夢中になっていました。

洗濯も大変なのに、わざわざ汚れる活動をなぜするのかと思われる方もあるかも知れませんが、これは子供たちにとって、次のようなすごい体験、大きな学びの時間なのです。

1 五感を刺激し感触を味わう

泥んこといっても、土や水の状況で感じが変わります。しゃばしゃば、ねっとり、ざらざら、ずぼっなど、手や足の裏など肌全体で

感じて、その違いや楽しさを五感で味わい、感触の違いを知ることができるのです。

2 想像力が養われます

しばらくすると、泥団子作りが始まりました。「大きいのができた。」「あっ、水に浸けたら壊れた。」「水で溶けた。」など発見したり、創意工夫したりして遊びが広がります。何かに見立てたり工夫したりする遊びを通して、豊かな想像力が養われます。

3 自然に興味をもちます

砂、土、水は自然界のもので、あらゆるところにありますが、天候や状況によって姿を変えます。土と水を混ぜて、田んぼになりました。その田んぼに、シオカラトンボが飛んできました。トンボはしっぽを水面にチョンチョンと浸します。「何をしているのかな？」と子供たちは興味津々です。次々と自然に親しみ、知識を広げることができます。

4 社会性が身に付く

泥んこの中に座ってみんなが足を伸ばし始めました。どれが誰の足か分からないくらいたくさん足の足、足、足。すると「この足だあれだ！」ゲームの開始です。

友だちの顔に泥がかからないようにとか、みんなで協力して田んぼの土を軟らかくするために走ろうとか、友だちや保育者とたくさん関わりながら「コミュニケーション力」「折衝力」などの力も身に付けているのです。



【5・6月のキラリ 活動紹介】

歯の健康教室



園医の先生から、保護者の皆さんへの講話の後、歯科衛生士さんによる親子歯みがき教室でした。自分でみがいた後、お家の人に仕上げみがきをしてもらい、口の中がすっきりきれいになりました。

「ぐるんぱ」さんの読み聞かせ



毎月1回親子読書会「ぐるんぱ」のお母さんたちが、読み聞かせ会をしてくれます。みんな、毎回とっても楽しみにしています。6月は桜嶋十文学記念館の「自由の館」でも読み聞かせ会をしてくださいました。

カレーの日



きりん組みんなで切った野菜を、大鍋に入れて薪でぐつぐつ煮込みます。玉ねぎが鍋の半分くらい入っていて、とろーり美味しいカレーができました。たくさんおかわりして、完食でしたよ。

きりん組・うさぎ組は、歩いて千鳥公園まで行きました。公園では錦江幼稚園の皆さんが待っていて、交流会の始まり！一緒にかけっこして、遊んで、お弁当も食べました。新しい友達もたくさんできました。

錦江幼稚園との交流(in千鳥公園)



年長組プール掃除



プール遊びが始まる前に、きりん組がプール掃除をしてくれました。床、壁、プールサイドをゴシゴシ。やっとびかびかの輝くプールになったと思いきや、上から見た人が「まだ、向こうが汚れてるよ。」ということで、何回も自分たちで見確認しながら、徹底的にきれいにしてくれました。

りす組さん、初めてのプール遊びです。はじめはこわごわでしたが、すぐにへっちゃらになりました。

年少組初めてのプール遊び



園開放「ドレミファらんど」



6月の「ドレミファらんど」は、しゃぼん玉の予定でしたが、雨天のため室内遊びに。8名のお友達が参加してくれました。遊戲室で新聞紙や大型積み木で全園児と交流しながら遊びました。

うさぎ組は園の裏のミニ田んぼで田植えをしました。根っこの方を持って、すぶっと土の中まで植えるのは、なかなか難しそうでしたが、みんなでやり遂げました。丈夫に育つようにパワーもたっぷりおくりました。

年中組の田植え

